

ひたちおあたてくてくウォーク 11

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

小中町ハイキングコース 距離：約6km 所要時間：2時間半

今回は、小中町を歩いてきました。小中コミュニティセンターに車をおいて国道349号を南に歩くと、生田の滝入口の看板があるので、それを目印に東に折れて生田の滝を目指します。生田の滝は毎年ここを会場にコンサートが開催されるほど、景観が素晴らしいところです。

また、349号をはさみ西方向には手軽な登山が楽しめる鍋足山（平成22年10月号で紹介）があります。時間があれば歩いてみるのもよいでしょう。短時間で山と滝が楽しめる自然豊かな地区です。

① 菊池家のモミジ



市指定天然記念物で推定樹齢450年は県下最大級。秋には見事な紅葉が見られる。近くにも巨木が多い。

② 不動尊

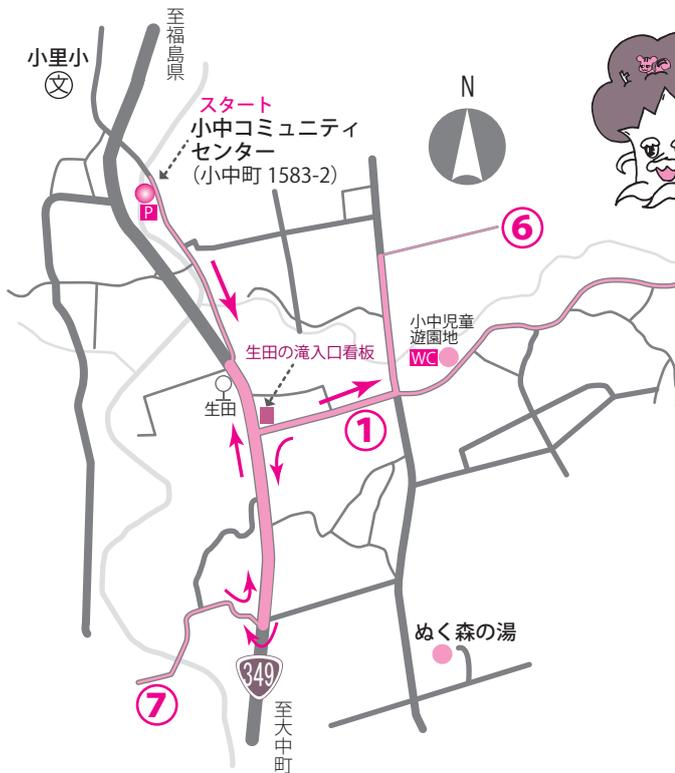


なぜか、川向こうの不動尊に対岸に鳥居が建っている。

③ 生田の滝（出会いの滝）



上流から来る小滝と大滝が交わり出会う場所。生田の滝のコンサートが毎年開催され、幻想的な雰囲気包まれる。



④ 生田の滝の巨岩上の杉



出会いの滝の真上にあり、巨岩にしがみつくように根を張って滝を見つめ続けているように立っている。根元には馬頭観世音の碑がある。

⑥ 羽黒神社



十二所神社・熊野神社と同じく全国に多く存在し出羽三山の羽黒権現を祀った神社。政教分離のため村社の文字をコンクリートで埋め込んでいる。鳥居から本殿までの距離が長い。

⑤ 生田の滝（大滝）



出会いの滝からさらに進むと、三筋の流れが美しい大滝が現れる。

⑦ 庚申塔・馬力神



庚申塔は庚申の夜は眠らず語り明かした民間信仰に基づき建てられた。道の反対側に馬力神と刻んだ石塔が多く見られるが、その大部分は愛馬の供養のために立てられたもの。馬を大切にしたい土地柄から新しいものも多い。



常陸太田市文化課エコミュージアム推進室 (内線 541)